

本時のテーマ 方言に愛着をもち、自分が知りたいことを進んで調べるための支援の工夫

1 単元名(題材名) ふさわしい方法を選んで発表しよう(方言と共通語)

2 目標

- (1) 方言と共通語に関心をもち、方言について調べたり発表の準備に取り組んだりしようとする。  
(関心・意欲・態度)
- (2) 共通語と方言の違いを理解し、方言のよさに気付いたり、愛着をもったりすることができる。  
(話すこと・聞くこと)
- (3) 方言について調べたいことを決め材料を集め、発表の方法を工夫することができる。  
(話すこと・聞くこと)
- (4) 地方・地域によることばの違いに気付き、自分の住んでいる土地で使われている方言や言葉に愛着をもつことができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 指導計画(4時間取り扱い) ○は本時

次	時	学 習 内 容	関	話	書	読	言	評 価 規 準
1	1	学習のねらいを知り、方言について調べて発表したいテーマを決める。	◎	○				教科書を読み方言に関心をもち、調べて発表するテーマを決めることができる。
2	①	方言に愛着をもち、知りたいことをインターネットや本で調べる。	○				◎	方言について話し合い、知りたいことをインターネットや本で調べることができる。
	2	方言について調べたことをまとめ、発表の準備をする。	○				◎	方言について調べた資料を使い、自分なりの方法を考え発表の準備をすることができる。
3	1	方言について調べたことを発表する。	○	◎				方言について調べたことを、友達や保護者の前で発表することができる。

4 児童の実態と個別目標

氏名・学年	実 態	自 立 活 動 に 関 す る 目 標
A 5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を正しく読み、感情を込めながら上手に音読したり、発表したりすることができる。</li> <li>・資料を調べたり読んだりして内容を理解する力は高いが、文字を使って自分でまとめて表現することはまだ得意でないで、少しずつ取り組んでいる。</li> <li>・コンピュータの操作が得意で、進んで使って調べたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて活動に取り組むことができる。 2-(1)</li> <li>・まわりの人とかかわりながら活動することができる。 3-(1)</li> <li>・自分が調べたことを、進んで聞き手の前で発表することができる。 6-(4)</li> </ul>
B 5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを絵で表現することが得意だが、漢字の読み書きや教科書の音読、文章の内容の理解などにはまだ練習が必要である。</li> <li>・語彙が少なく話すことは得意でないが、繰り返し聞かれたことには答えることができる。ことばの練習することで少しずつ積極的に話せるようになってきた。</li> <li>・コンピュータの操作にはあまり慣れてないが、支援すると活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の読み書きや発音の練習に進んで取り組むことができる。 2-(3)</li> <li>・まわりの人との交流を楽しみながら活動することができる。 3-(1)</li> <li>・話し手の話をよく聞いて内容に合う受け答えをしたり、調べたことを発表したりすることができる。 6-(2)</li> </ul>

5 本時のテーマにせまるために

本単元では、内容や目的に合わせて効果的な発表方法を工夫することをねらいとし、題材である「方言と共通語」では、その違いやよさを理解し、言語に対する感覚を育てることを目的として設定されている。児童は、前学年で、学級の友達にアンケートを行いポスターセッションで発表する活動を経験している。

本学級の児童は、自立活動で料理や実験・ゲームなどを一緒に楽しみ、互いへの思いやりの気持ちを態度や言葉に表すことができる。国語の学習では、教科書の音読や漢字の読み、教材の内容についての話し合いなどを一緒に行い、自分の思いを話すことができている。しかし、目的に応じて調べ、話の構成を工夫しながら適切な言葉遣いで話すという活動には、二人とも支援が必要である。

そこで指導にあたっては、教科書を読み、方言と共通語の定義、方言の特徴、共通語の役割などを理解したうえで、方言のよさに気付き、方言に関心をもてるようにしたい。本時においては、まずCDを用いて方言での民話を聞いたり、実際に自分で声に出して読んだりして、方言への愛着を深めることができるようにする。その後、インターネットや本を通して、自分の知りたいことを調べることができるように支援する。その際、調べたことを学習発表会で発表するという目的意識をもつようにしていきたいと考えている。

6 本時の学習

(1) 個別目標

- A：方言に愛着をもち、知りたいことをインターネット等で進んで調べることができる。
- B：方言に愛着をもち、知りたいことを教師や友達と一緒に、インターネット等で調べることができる。

(2) 準備・資料

CD(秋田県民話「八郎」)、CDラジカセ、「八郎」方言プリント、絵本「八郎」、パソコン、本「小学生のまんが方言辞典」、ワークシート、掲示用ワークシート、国語辞典、リンク集、振り返り表

(3) 展 開

(7) 本時のテーマにせまるための手立て

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 始まりの会をする。                      (1) 始めのあいさつをし簡単な会話をする。                      (2) 本時の学習の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">方言について調べよう。</div> <p>(3) 学習の流れを聞く。</p> <p>2 方言での民話「八郎」の一部分を聞く。                      (1) 「八郎」の絵本を見る。                      (2) CDで方言を聞く。                      (3) 感想を発表する。                      (4) 方言プリントを見ながら聞く。                      (5) 声を出して方言プリントを読む。                      (6) 方言のよいところを発表する。</p> <p>3 方言について調べる。                      (1) 調べたいテーマを発表する。                      ・方言とは                      ・あいさつの方言                      ・ものの名前の方言                      ・各地方の方言                      ・茨城県の方言                      (2) インターネットや本で調べる。</p> <p>(3) 調べて分かったことをワークシートに記録する。</p> <p>4 調べたことを発表する。</p> <p>5 終わりの会をする。                      (1) 学習を振り返る。                      (2) 終わりのあいさつをする。</p>	<p>・あいさつや会話を通して、児童の様子を観察し、緊張せず楽しく学習する雰囲気をつくる。                      ・調べたことを学習発表会で発表する予定であることを伝える。</p> <p>・本時の学習の流れを説明し、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">⑦方言への関心を深めるために、実際に方言を聞く。</div> <p>・絵本を見て、民話のイメージをつかむことができるようにする。                      ・素直な感想をうなずきながら聞くようにする。                      ・意味の分からない言葉について話し合ったり、教師が説明したりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">⑦方言のよさを実感するために、共通語と比べる。</div> <p>・一人一人の調べたいテーマと調べる方法を確認する。まだ決まっていない場合は、調べながらテーマを絞っていくように助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">⑦Aは検索することが得意なので、よいサイトを見つけた場合には賞賛し、共に見たり、Bに紹介したりするよう話す。                      ⑦Bがパソコンの入力に手間取る場合には、共に行うようにする。無理せず本だけで調べてもよいことも助言する。</div> <p>・言葉だけでなく、図や表などの資料も大切にしよう助言する。                      ・短時間では書き終わらないので、必要な資料は印刷しておくことを指示する。                      ・Aが記録している場合は大いにほめるが、無理しなくてよいことや、資料にラインを引いておくだけでもよいことを伝える。                      ・Bは絵が上手なので、発表には絵をたくさん使うように伝える。</p> <p>⑧方言について自分が知りたいことをインターネットや本で調べることができたか。                      (観察、ワークシート、発表)</p> <p>・発表の仕方の例をワークシートに記入しておき、安心して話すことができるようにする。</p> <p>・振り返り表を使い、自分のがんばりを自覚できるようにするが、負担にならないように○などの記号で記入するようにする。                      ・一人一人のがんばったことなどをほめ、次時への意欲をもつことができるようにする。</p>

(4) 板書計画

